

(仮称) 鮫川村デジタル田園都市構想総合戦略(案) に対する意見提出様式

意見内容	<p>広報8月号でパブリックコメントの実施を知り、感じたことを提出させていただきました。</p> <p>鮫川に引っ越してから36年と8ヶ月になりますが、人口減少をはじめ、様々な変化がありました。よいことも、さびしさを感じることも。しかし変わらず鮫川の素晴らしさの基盤にあるのは人の優しさにつながりだと思えます。優しさは、人によって感じ方も違い定義するのは難しいですが、お互いが理解し合えた時の支え合える力は鮫川の大きな財産だと感じています。</p> <p>『人口ビジョン』の中にある、労働人口減少や消費市場縮小などによる悪循環は、まさに現実的で大きな課題になっています。『デジタル田園都市構想素案』にある通り、知識を出し合っ一丸となって取り組むことが必要だと感じています。村で生きる価値をひとり一人が実感できるためには、村を愛して暮らし、村を大切に思う人たちとふれあい、思いを伝え合う機会が必要だろうと感じました。</p> <p>このビジョンや素案が活かされ、これからの若い世代が村をより輝かせてくれるためには、さらなる具体的手段や方策が必要になると思えます。</p> <p>「地産地消と地域環境で稼げるむらづくり」の中に移住・定住について触れられていましたが、空き施設を利用した山村留学の受け入れや、不登校やひきこもり、ニート状態の若者が鮫川の環境で生活し、就学就労に向けた経験を積めるフリースクールの運営も、移住者の増加や雇用機会の創出につながるのではないかと考えました。これは一例ですが、みんなで知恵と力を出し合いながらにかを創出することで、絆や思いやりの輪が一層広がり、人口の増加にもつながると思えます。</p> <p>鮫川の将来を大きな希望を持って見守りたいと思っています。</p>
------	--